

## 第3号議案 2009年度事業計画

5エリア\*（狭山、所沢、川口、大宮・熊谷、越谷）、4部門（受託、食、福祉、情報文化）の体制を継続し、全体で6ワーカーズを作る。今年度は『生活クラブが創る地域福祉』に関する連合会機能の発揮も想定されます。さらに多様な中間支援組織としての役割を担うために、活動資金の充実は不可欠であり、昨年度実施した会員ワーカーズの実態調査データを基に、資金拠出のあり方を検討します。

\*昨年度まで「ブロック」としていた地域の区画名を、生活クラブの名称との混同を避けるため「エリア」とする。

## 第4号議案 2009年度予算

収入 2,568,551円 支出 2,547,400円

活動費および交通費の予算額は 1,006,400円になります。

今年は第2次中期計画の2年目です。  
ワーカーズの働き方をさらに社会に  
広めていきましょう。

第2次中期計画 2008年～2010年

## 協同組合地域社会づくり

人を生かす参加型の働き方で、人が主人公の社会をつくろう。

ワーカーズ・コレクティブは、自分達で出資し経営し労働も担う「働く人の協同組合」です。様々な面で自分たちの暮らしや社会を良くしていくための経済組織であり、そのための運動体なのです。私たちは、「あったら良いな」と思う「モノ」や「サービス」を自らの手で作り出し、より人間的で質の高い社会を目指します。

こうした社会を実現するために、たくさんのワーカーズを作り、同じ思いを持った仲間を増やし、地域社会と連携していきます。



すべての議案が承認された



どの事業体も一律の分担金額は疑問。  
額の再検討をすべきだ。

収益性と社会的意義のはざ  
間でどう折り合っていくか、  
多面的議論をしていきたい。

地域福祉を担うワーカーズの設立が新年度の活動の柱であること、そして、全国会議の埼玉開催を成功させることを確認しあった総会でした。

### 全体研修

### 「ワーカーズコレクティブが地域をつくる」

総会後にワーカーズ運動のこれからを示唆する講演会が行われた



市民セクター  
政策機構  
澤口隆志理事長

澤口氏は生活クラブ神奈川の職員であった経験から、生活クラブ組合員・ワーカーズ・生活クラブ職員の3者が、参加・分権・自治を追及することによって地域の問題を解決してきたと言う。そして現在豊かに展開する生活クラブ神奈川のまちづくり運動およびそこに付随する組合員主権の広がりは、ワーカーズへの業務委託と組合員・ワーカーズ・職員3者のパートナーシップの広がりにあったと主張する。しかしそれは互いに尊重しあう中でも、常にぶつかり合い、点検し、試行錯誤を重ねて作り上げていかなければならぬものであった。

ワーカーズも実力を持って地域を豊かにするための提案を主体的に行い、その使命を高めるべきだ、などと氏は説いた。